

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [労働者福祉・共済](#) | [労福協](#) | [労福協の活動](#)
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[協同組合](#)[労福協](#)[労働金庫](#)[全労済](#)[県生協連](#)[勤労者信用基金協会](#)[年金福祉協会](#)[福祉基金協会](#)[ユニオントラベル](#)[教育カリキュラム](#)[▶ キーワード検索はこちら](#)

労福協の活動

2017年度の定時社員総会議案書より

・2017年度は、「連帯・協同で、安心・共生の福祉社会をつくろう！！」をスローガンに地域・地区労福協の活動を支援する取組みとして、11月から1月に「生活底上げ・共助拡大キャンペーン」を設定し、「格差社会への警鐘」と「可処分所得向上に資する運動の展開」をテーマに、労働者自主福祉運動の拡充・福祉事業団体の利用促進を柱に運動展開してきました。その結果、周知活動として多くの学習会の開催や街宣活動の展開、労金・全労済の利用者増などの実績につながっています。また、「語り部育成ゼミ」の全地域実施を実現するなど、労働者自主福祉運動の理解を深める活動を進めてきました。



・2013年から2015年に地域労福協を中心として「自主福祉討論会」を開催した際には、労組役員から労働者自主福祉運動の理解不足の懸念として各階層や女性への運動の浸透が不十分ではないかという課題が示されています。そして、昨年度実施した就任3年以内の労組役員を対象とした「ALWF地域ミナ」では、労福協・労金・全労済の取組みを説明した後の意見交換において、労福協によるフードバンクの展開や労金のATM利用手数料0円のサービスを「知らなかった！」という意見が多く出ており、まだまだ取組みそのものが伝わっていない（浸透していない）事実が明らかとなっています。

・2018年度は、この現状に対し、労働者自主福祉運動の理解者と福祉事業団体の利用者の増加を図り、運動の底辺を広げる取組みを地域・地区労福協における活動を柱に展開します。若年層から退職者層までの各階層に運動展開していきますが、特に「若年層と女性」を重視した取組みとして、各種教育活動やイベントを通じて、運動の伝承・浸透と広がり、時代にあった一体感ある労福協活動を目指していきます。また、福祉事業団体の利用者増が、福祉の活動の運営幅を広げ優位性を確立できること、そして可処分所得の向上等、労働者の生活上の不安解消につながることを伝えていく活動とします。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

[▶ サイトマップ](#) [▶ このサイトについて](#) [▶ 個人情報保護の取組みについて](#)

[▶ ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.